

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	
授業科目	看護研究理論						
単位数	1 単位	時間	1 6 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	宮下 梨沙						
授業目的	1. 看護研究の基礎を学び、看護実践における研究の意義・方法を理解する。 2. 看護の質を向上させるために常に探究心を持ち、自己研鑽できる態度を養う。						
中核	看護現象の探究						
	1. 看護実践における研究の意義および目的について理解できる。 2. 看護研究の基礎的理論と方法が分かる。 3. 看護研究の基本的な進め方が理解できる。 4. 研究や臨地実習に必要な文献を収集できる。 5. 自己の看護場面から「問い（研究疑問）」を明らかにし、研究計画書を作成できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	看護研究の歴史（意義と発展） 1) ナイチンゲールの功績と看護研究 2) 看護研究の目的と意義	講義 および 演習	2			
	2	看護研究における倫理		2			
	3	研究のステップ		2			
	4	研究の種類、研究方法		2			
	5	文献検索とクリティーク		2			
	6	研究データの分析 1) 統計処理 2) 質的データ		2			
	7	研究計画書作成 1) リサーチクエスチョン・研究テーマ 2) 研究計画書の構成、書き方		2			
	8	3) 研究計画書の発表		2			
評価計画方法	研究計画書20%、筆記試験60%、提出物・演習への参加度20%						
テキスト 参考図書	坂下玲子：系統看護学講座 別巻 看護研究【電子版】，医学書院 高橋百合子監修：看護学生のためのケース・スタディ，メヂカルフレンド社，第4版，2015。 足立はるゑ：看護研究サポートブック，メディカ出版，第4版，2017。						
事前学習 事後学習	個人・グループで主体的に学習を進めていき、教科書および図書室を利用し、書籍を読み進めていく。						
実務歴 有	看護師・保健師：病院勤務 14年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への 反映	臨床での看護研究の実践を通して看護研究の意義を明確に持ち、基礎教育において必要な知識を精選し講義を行う。看護実践と研究を結びつける講義を構築する。						
備考	これまでの看護活動から、興味・関心のあるテーマを決定する。グループでの演習もあるため、グループ内での報告・連絡・相談を行い、連携を大切にしていきたいと思います。						